

平成29年度 シラバス（総合実習）

学番 78 新潟県立海洋高等学校

教科（科目）	水産（総合実習）	単位数	4単位	学年（コース）	2学年（海洋技術コース）
使用教科書	漁業（海文堂出版株式会社 発行）/航海・計器（海文堂出版株式会社） 船舶運用（海文堂出版株式会社 発行）				
副教材等	なし				

1 学習目標

乗船実習を通して、安全で規則正しい船内生活に慣れさせるとともに、漁業生産と船舶運航に関する総合的な知識と技術を習得させ、漁船漁業における生産技術の改善を図る能力と態度を育てる。

2 指導の重点

規則正しい生活態度や、漁業従事者・船舶乗組員としての基本的な知識を身に付けさせるとともに、将来の幅広い進路に活かされるよう

①小型船舶の操縦に関する知識と技術を習得させ、安全かつ適切な操船を行う能力と態度を育成する。
②操船や漁業作業などとおして、安全で規則正しい船内生活を過ごすことができるようにする。
③漁具作製をとおして、漁業分野に関する興味・関心を高めさせる。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4 5 6 7	小型船舶に関する 操船実習 海図	小型船舶の 取扱い 基本操船 応用操船 交差方位法 ランニング フィクス 四点方位法 船首倍角法 流潮航法	○小型船による実習や座学での基礎的な知識をもとに、漁業生産と船舶運航に関する総合的な知識と技術を習得させる。 ○漁船漁業における生産技術の改善を図る能力と態度を育てる。	36	授業の取組 各時間の課題・レポート
9 10	実習船による漁業・航海実習	マグロ延縄 イカ釣り	○漁船漁業における生産技術の改善を図る能力と態度を育てる。 ○船上・海上における団体行動の重要性を理解し、連帯感を育成する。	56	授業の取組 各時間の課題・レポート

11	漁具作製	延縄漁具 ルアー	○安全を確保するための能力を高めるとともに、基本的な技術と強健な心身を育成する。 ○基本的な技術を習得させ、漁業の分野に対する興味・関心を高める。		
12					
1 2 3	海技免許講習	レーダ	○各講習をとおして、正しい知識と技能を習得する。	36	授業の取組 各時間の課題・レポート

計 128 時間 (55 分授業)

4 課題・提出物等

- 授業で配付したプリントおよび課題
- 長期休業中の課題
- ノート

5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
○漁業や船舶運航に関心をもち、実習に意欲的に参加し、自ら進んで行動できる。	○集団における個人の役割について理解でき、周囲の状況を見ながら行動することができる。	○漁具作製、操船、操艇など正しく行うことができる。	○船舶を安全かつ適切に航海させるために必要な基礎的知識を十分理解している。
<p>以上の観点を踏まえ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業への取組状況（授業態度、出席状況、発表、学習参加状況など） ○提出物（レポート、プリント、ノート）の内容及び期限の厳守 ○テスト（実技を含む）自己評価 <p>などから総合的に判断します。</p>			

6 担当者から一言

教室での授業と違い、多くは船の上での実習になります。海上は大自然の影響を常に受け危険にさらされているので、いつでも緊張感をもって実習を行うこと。実習前の準備は万全に、指示は最後までしっかり聞き、行動は素早く落ち着いて行うこと。間違っても勝手な行動をとらないように注意してください。

担当 平田寛、久保田和平、新井清久、岩谷和彦、齋藤ゆかり